

代表質問

9月24日及び25日の本会議で、6名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その要旨をお伝えします。

自由民主党

真鍋 欣之議員

長引く不況により、区の財政状況は大変厳しい。①区の11年度の歳入見通しは、減税や都の補助金カットを考慮すると甘い。見込み通り確保できるのか。②財政の硬直化を招かぬためにも、起債の限度額を設定せよ。

政策経営室長 ①今後も財源の確保に努めていく。②可能な限り区債の発行を抑制していく。

①限られた財源で区政を運営するには、行政改革を断行し、「小さな行政」に転換しなければならぬ。②地域行政の推進では、組織を肥大化させない。③職員定数の削減に向け、(a)区立幼稚園を計画的に廃園せよ。(b)学童擁護などの現業職を廃止し、業務を民間に委託せよ。(c)外部団体に事業を委託する場合は、契約内容を精査し、コストの削減を図れ。(d)外部団体の統廃合も積極的に進めよ。④政治の責任で行政改革を断行し、大幅な職員定数削減を断行せよ。

公明

増田 信之議員

行財政改革は区政の最重要課題だ。①提案された行革案例に基づき、事業の見直しや職員定数の削減、外部団体の整理統合を断行せよ。②議会改革や議員定数の削減などを提唱する。

①行革を着実に実行していく。②区内の商店の活性化に向け、区の記念品などに、区内共通商品券を活用せよ。(f)釣銭が出る商品券に活用せよ。③中小企業が融資を受けやすくなるよう、区の認定制度を作れ。

産業振興部長 ①(7)引き続き努力する。(f)区商連に働きかける。②現行制度の中で融資の拡大に努める。

痴呆性高齢者の介護には、グループホームが有効だ。建設費を助成するなど、民間ホームの整備を支援せよ。

減の道筋を早急に立てるとともに、議員定数を削減することを提案する。

①(7)行財政改善の視点に立って、取り組む。(f)実態に合わせて対応したい。(h)区民サービスの低下を来さないことを基本に、委託を推進していく。(g)一層の削減に努める。(h)福祉の外部団体の再編成を具体的に検討している。

①介護保険制度の実施に備え、(7)将来の介護対象者の増加などを的確に見通し、財源確保に万全を期せよ。(f)北沢特養ホームを民間法人に委託するなど、民間事業者を積極的に活用せよ。(g)老健施設などの整備に努めよ。(h)国立小児病院跡地を取得し、保健・福祉・医療の総合的な施設を整備せよ。②少子化対策では、(7)私立保育園への支援の強化など、子育て支援事業の充実を強く要望する。(f)BOPに学童クラブを統合し、早期に全校で展開せよ。

①(7)介護保険計画で明らかにする。(f)民間事業者などを支援する。(g)整備目標の達成に努力する。(h)取得に向け、国に強く働きかける。

①(7)学童クラブの機能を果たせ、11年度から順次導入する。

①安全で快適な街の実現に向け、都市基盤整備を推進せよ。②事業化されていない都市計画区域内の住民は、建物の建築制限を受け、長期間不利益を被っている。制限の緩和を都に求めよ。③違反建築の取締りを強化せよ。

①全力で取り組む。②事業の早期実現を働きかけていく。③規制の強化を検討する。

①清掃事業の移管を控え、リサイクルシステムの構築が急務だ。(7)きめ細かな分別収集の仕組みを作れ。(f)区民との協働体制を確立せよ。②活力ある地域社会づくりに向け、(7)福祉の地域の支え合い活動を支援するとともに、区内全域で展開せよ。(f)区内共通商品券事業への支援や、区の事業を中小企業が共同で受注するシステムの確立など、区内産業の活性化に努めよ。

①(7)広く区民の意見を聞いて取り組みたい。(f)役割分担などを、新たな条例の中で規定していく。(7)積極的に取り組むたい。(f)自立的な活動を強力に支援する。

①区民の生涯学習活動を支援せよ。②設立予定のスポーツ振興財団が、財政的に区に依存しないよう、収益事業を展開せよ。③小中学校の通学区の指定校制度を、柔軟に運用せよ。

①きめ細かな施策を展開する。②自立した運営を指導していく。③弾力的に対応したい。

①区は保育料などを値上げし、区民に負担を押し付けている。後退させた福祉を改めて、②中小企業者への支援を拡充する。

①区は保育料などを値上げし、区民に負担を押し付けている。後退させた福祉を改めて、②中小企業者への支援を拡充する。

①区は保育料などを値上げし、区民に負担を押し付けている。後退させた福祉を改めて、②中小企業者への支援を拡充する。

①区は保育料などを値上げし、区民に負担を押し付けている。後退させた福祉を改めて、②中小企業者への支援を拡充する。

①区は保育料などを値上げし、区民に負担を押し付けている。後退させた福祉を改めて、②中小企業者への支援を拡充する。

働きかける。②(7)学童クラブの機能を果たせ、11年度から順次導入する。

①安全で快適な街の実現に向け、都市基盤整備を推進せよ。②事業化されていない都市計画区域内の住民は、建物の建築制限を受け、長期間不利益を被っている。制限の緩和を都に求めよ。③違反建築の取締りを強化せよ。

①全力で取り組む。②事業の早期実現を働きかけていく。③規制の強化を検討する。

①清掃事業の移管を控え、リサイクルシステムの構築が急務だ。(7)きめ細かな分別収集の仕組みを作れ。(f)区民との協働体制を確立せよ。②活力ある地域社会づくりに向け、(7)福祉の地域の支え合い活動を支援するとともに、区内全域で展開せよ。(f)区内共通商品券事業への支援や、区の事業を中小企業が共同で受注するシステムの確立など、区内産業の活性化に努めよ。

①(7)広く区民の意見を聞いて取り組みたい。(f)役割分担などを、新たな条例の中で規定していく。(7)積極的に取り組むたい。(f)自立的な活動を強力に支援する。

①区民の生涯学習活動を支援せよ。②設立予定のスポーツ振興財団が、財政的に区に依存しないよう、収益事業を展開せよ。③小中学校の通学区の指定校制度を、柔軟に運用せよ。

①きめ細かな施策を展開する。②自立した運営を指導していく。③弾力的に対応したい。

①区は保育料などを値上げし、区民に負担を押し付けている。後退させた福祉を改めて、②中小企業者への支援を拡充する。

①区は保育料などを値上げし、区民に負担を押し付けている。後退させた福祉を改めて、②中小企業者への支援を拡充する。

①区は保育料などを値上げし、区民に負担を押し付けている。後退させた福祉を改めて、②中小企業者への支援を拡充する。

①区は保育料などを値上げし、区民に負担を押し付けている。後退させた福祉を改めて、②中小企業者への支援を拡充する。

①区は保育料などを値上げし、区民に負担を押し付けている。後退させた福祉を改めて、②中小企業者への支援を拡充する。

①区は保育料などを値上げし、区民に負担を押し付けている。後退させた福祉を改めて、②中小企業者への支援を拡充する。

①区は保育料などを値上げし、区民に負担を押し付けている。後退させた福祉を改めて、②中小企業者への支援を拡充する。

①区は保育料などを値上げし、区民に負担を押し付けている。後退させた福祉を改めて、②中小企業者への支援を拡充する。

①区は保育料などを値上げし、区民に負担を押し付けている。後退させた福祉を改めて、②中小企業者への支援を拡充する。

新風 21

花輪 智史議員

効率的で開かれた自治体の実現は、区の責務だ。①(7)区長は、国の行革方針に反対する内容の政策協定を共産党と結んだのか。②行革案例の提案にあたり、区長の行革に取組む断固たる決意を示せ。③施策の目標・コスト・成果を、誰もが客観的にわかる行政評価システムを導入せよ。④サービス公社では、事業を委託するにあたり、当初の契約時に入札などをするだけで、以降はほとんど随意契約をしており、競争原理が働いていない。経費削減に向け、公社に改善を求めよ。⑤(7)区民の税金が投入されている外部団体の情報は、区民の情報であるという考え方を示せよ。

①(7)区長は、国の行革方針に反対する内容の政策協定を共産党と結んだのか。②行革案例の提案にあたり、区長の行革に取組む断固たる決意を示せ。③施策の目標・コスト・成果を、誰もが客観的にわかる行政評価システムを導入せよ。④サービス公社では、事業を委託するにあたり、当初の契約時に入札などをするだけで、以降はほとんど随意契約をしており、競争原理が働いていない。経費削減に向け、公社に改善を求めよ。⑤(7)区民の税金が投入されている外部団体の情報は、区民の情報であるという考え方を示せよ。

に立ち、外部団体に情報を公開せよ。(f)磁気情報などの公開とフロッピーディスクなどによる情報提供を実施せよ。

①(7)国の行革に、一方的に追随することがないように配慮したものと解釈している。(f)区民の立場に立って進める。②既存の評価システムが軌道に乗った段階で、その後の取り組みを検討したい。③公社での高齢者や障害者の雇用促進という課題も含め、総合的な観点から取り組むよう指導する。④(7)12・13年度を目途に、円滑な導入を目指す。

①(7)12・13年度を目途に、円滑な導入を目指す。②利用者への費用負担はどうなるのか。③現在、給付している福祉用具も、介護保険では貸与となる。対策を講じよ。

①国の動向を踏まえて対応したい。②負担のあり方を早急に検討していく。③不都合のないよう対応していく。

①(7)区内事業者の受注機会の拡大を図れ。②融資制度の一層の拡充に努めよ。

①努力していく。②多様な取り組みを行っていく。

①(7)11年度予算では、介護保険対象外の福祉施策の財源を十分確保せよ。②現行サービス水準を維持したい。

社民党・民主リベラル

桜井 征夫議員

区民に信頼される議会を目指し、議員の政治倫理の確立を強く望む。

①(7)日米防衛協力の新ガイドライン関連法案は、憲法に違反するものだ。国に、反対を申し入れよ。

①(7)国会などの動向を見守りたい。②(7)介護保険の実施で多大な影響を受ける障害者施策では、①保険導入後も、現行のサービス水準を堅持せよ。②利用者への費用負担はどうなるのか。③現在、給付している福祉用具も、介護保険では貸与となる。対策を講じよ。

①国の動向を踏まえて対応したい。②負担のあり方を早急に検討していく。③不都合のないよう対応していく。

①(7)区内事業者の受注機会の拡大を図れ。②融資制度の一層の拡充に努めよ。

①努力していく。②多様な取り組みを行っていく。

①(7)11年度予算では、介護保険対象外の福祉施策の財源を十分確保せよ。②現行サービス水準を維持したい。

①(7)11年度予算では、介護保険対象外の福祉施策の財源を十分確保せよ。②現行サービス水準を維持したい。

①(7)11年度予算では、介護保険対象外の福祉施策の財源を十分確保せよ。②現行サービス水準を維持したい。

①(7)11年度予算では、介護保険対象外の福祉施策の財源を十分確保せよ。②現行サービス水準を維持したい。

①(7)11年度予算では、介護保険対象外の福祉施策の財源を十分確保せよ。②現行サービス水準を維持したい。

①(7)11年度予算では、介護保険対象外の福祉施策の財源を十分確保せよ。②現行サービス水準を維持したい。

①(7)11年度予算では、介護保険対象外の福祉施策の財源を十分確保せよ。②現行サービス水準を維持したい。

①(7)11年度予算では、介護保険対象外の福祉施策の財源を十分確保せよ。②現行サービス水準を維持したい。



日本共産党

村田 義則議員

深刻な不況が続く中、①区は保育料などを値上げし、区民に負担を押し付けている。後退させた福祉を改めて、②中小企業者への支援を拡充する。

①区は保育料などを値上げし、区民に負担を押し付けている。後退させた福祉を改めて、②中小企業者への支援を拡充する。

①区は保育料などを値上げし、区民に負担を押し付けている。後退させた福祉を改めて、②中小企業者への支援を拡充する。

①区は保育料などを値上げし、区民に負担を押し付けている。後退させた福祉を改めて、②中小企業者への支援を拡充する。

生活者ネットワーク

西崎 光子議員

①介護保険制度の導入に向け、サービスの供給体制の整備が急務だ。(f)今後は、NPOなどの区民や事業者が、サービスの主な担い手となるものと考え、区の役割はどうなるのか。②痴呆性高齢者を対象としたグループホームの整備を進めよ。(7)地域でのリハビリ事業を拡充せよ。③介護保険事業計画の策定に、区民の声が十分反映されるよう、区民参加の機会を増やせよ。

①(7)サービスの総量の確保に全力を注ぐ。(f)推進策を検討していく。(7)拠点の整備に努める。②多様な手法を用いて、計画に区民意見を反映させていく。

①(7)男女共同参画社会の実現が求められている。①施策を積極的に推進せよ。②職場におけるセクハラの防止に向け、研修などを通して職員意識啓発に努めよ。③学校で男女平等教育に

①(7)男女共同参画社会の実現が求められている。①施策を積極的に推進せよ。②職場におけるセクハラの防止に向け、研修などを通して職員意識啓発に努めよ。③学校で男女平等教育に

環境部長ほか

①可能な場所から緑化を図っていく。②今後さらに検討を進めていく。

①可能な場所から緑化を図っていく。②今後さらに検討を進めていく。

①可能な場所から緑化を図っていく。②今後さらに検討を進めていく。

①可能な場所から緑化を図っていく。②今後さらに検討を進めていく。

①可能な場所から緑化を図っていく。②今後さらに検討を進めていく。

一般質問

9月25日及び28日の本会議では、24名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その要旨をお伝えします。

木下 泰之議員(無党派)

質問 ①小田急線連立事業を高架で進めると、最高裁判例は基より国が今夏示した騒音受限度値もクリアできず違法だ。工事中止と計画見直しを求めよ。②夜間工事は即刻中止を。③区内の大気汚染は深刻。川崎道路公害訴訟判決の趣旨を鑑み、交通量を増加させる道路の新設や大型再開発は行わない。道路の新設や大型再開発は行わない。

助役 道路整備部長 ①騒音を低くするよう要請する。事業の中止要請は考えていない。②周辺住民に迷惑とならないよう申し入れた。③防災対策や地域の活性化などで、必要なもの。小谷 勝議員(自 民)

質問 ①北沢特養ホームの建設工事の入札は、談合のうわさがある。入札を延期し、改めて11月議会に提案せよ。②産業振興条例を早急に制定せよ。③部の「元気を出せ商店街事業」の継続を求めていけ。④小田急線連立事業に合わせ、豪徳寺駅周辺の整備を急げ。⑤梅ヶ丘以東の構造形式の早期決定を、都に強く要請することを望む。

助役 税務経理部長ほか ①区民が望む施設であり、入札を実施する。②近々、提案を予定している。③要請したい。④活力ある街をつくる。唐沢 敏美議員(社・民)

質問 ①提案された行革条例では、①推進計画の策定に住民の意見を十分取り入れよ。②従来からの行財政改善との整合を図れ。③子どものための施策は、地域で取り組むことが重要だ。支所の支援体制を強化せよ。④中教審の答申に区はどう取り組むのか。⑤教育懇談会は今後も継続して実施せよ。

助役 教育長 保健福祉部長ほか ①区民も参加した委員会を設置する。②条例で一層充実させていく。③検討したい。④魅力ある学校づくりに全力を注ぐ。⑤引き続き取り組む。

大庭 正明議員(行革10番) 質問 区は景気対策として、大規模工事でも区内業者が共同企業体の親になれるよう、建築工事での企業体の組合せ基準を改正した。この時期の改正は、

北沢特養ホーム建築工事を想定したとしか考えられない。特養ホームなどの技術的に難しい工事を、区内業者だけで行うのは困難だ。今回の入札を中止するとともに、組合せ基準を見直しを求めよ。

西村 孝議員(新風21) 質問 ①財政状況が厳しい中、行政サービスを下ろさずに、人件費を抑制することが不可欠だ。学校職員では、業務の民間委託や職種の統合などを進め、定数削減に積極的に取り組め。②幼児数の減少により、私立幼稚園を補完するという区立幼稚園の役割は終わった。区立園の廃園を判断せよ。

教育長 教育次長 ①他区での民間委託などの手法も参考にし、人件費の抑制に努めていく。②新しい幼児教育のあり方も含め、今後の区立園のあるべき方向性を明らかにしていきたい。

質問 ①地域の高齢者などの知識や経験を活用した姑村塾のような生涯学習事業を、全区で展開せよ。②学校での環境教育を積極的に推進せよ。③教員がゆとりのある教育を行えるよう、環境を整えよ。④単身者などが参加しやすい防災訓練を行え。⑤防災情報をエフエム世田谷で適切に提供せよ。

助役 教育長 福祉所長ほか ①地域の人材への支援に努めたい。②体験学習を基本に行っていく。③助言していく。④訓練の必要性を呼びかける。⑤放送のタイミングなどを検討したい。

内山 武次議員(自 民) 質問 ①違法駐車は、災害時の活動の障害や渋滞の要因となる。防止するための条例を制定せよ。②けやきネットの導入で、地域で定期的に活動してきた高齢者などが、抽選もれて活動の場を失っている例がある。従来通り活動できるように、工夫を凝らせよ。③毒物混入事件などに迅速に対処できるように、医療機関などとの協力体制を強化せよ。

助役 生活文化部長ほか ①検討を進めたい。②区民要望を的確に反映したシステムとなるよう、努力していく。③関係機関との連携を一層密にする。

山内 彰議員(自 民) 質問 ①池尻出張所で行われた地区懇談会は、区民が相談しやすいよう工夫され、好評だった。今後も地区懇談会は、形式にこだわらず、気軽に意見交換できる場とせよ。②池尻・三宿地域にある目黒川の暗渠の上部は、一向に有効利用されず、見た目も汚い。地域と相談し、暫定利用の早期実現に向け、積極的に取り組め。

世田谷支所長 ①地区の実情を踏まえ、出張所の職員を中心に、工夫を凝らし、②暫定的な開放に向け、検討を進めていく。

田中 美代子議員(共 産) 質問 ①経堂駅や祖師ヶ谷大蔵駅の街づくり協議会は、街づくり原案を作成している最中である。住民の合意による街をつくるためにも、期限を定めて原案の提出を迫る。②区の学童クラブとBOPの統合計画は、児童の保護育成機能を低下させる。学童クラブは、十分な育成室や休養室などの施設確保と、常勤職員で行う計画に見直し。

助役 福祉所長ほか ①立体化の終了で補助金の付かなくなる事業は、期限を決めて推進していく。②保護者の不安などを招かぬよう進めていく。

質問 ①国立小児病院内のつくし保育所が、病院移転後も太子堂地区で存続できるように、対策を講じよ。②代沢・三宿・池尻地区に、デイホームを建設せよ。③明治薬科大跡地の開発では、情報を住民に積極的に提供しよう。④住都公園を指導せよ。⑤駒沢の超高層ワンルームマンション計画の変更を、建設業者に強く求めよ。

助役 保健福祉部長ほか ①存続に向けた交渉を続けていく。②多様な手法で整備したい。③十分話し合いを行うよう、働きかける。④要請していく。

荒木 義一議員(自 民) 質問 ①松沢病院で一般診療を行うよう、都に引き続き強く要請せよ。②住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、区の高齢者資産活用制度を拡充せよ。③恵泉裏通りの早期開通に全力を尽くせ。④生活保護費の不正受給の再発防止に向け、対策を講じよ。⑤新たな都区財政調整制度の確立に万全を期せよ。

区長 保健福祉部長ほか ①働きかけしていく。②利用しやすい制度への転換に努める。③用地買収を粘り強く交渉していく。④未然防止を図っていきたい。⑤都区協議に積極的に臨む。

中塚 護議員(公 明) 質問 ①多摩川の玉川1・3丁目付近は、川底が上がり、洪水の危険もある。二子橋の下流に出来た中洲を取り除くよう、国に要請せよ。②静嘉堂文庫正門前のT字路付近は、見通しが悪く、歩道のない所もあり大変危険だ。瀬田4丁目公園用地の塀を後退させ道路を広げるなど、T字路の改善に努めよ。

玉川支所長ほか ①国は、支障がないので除去は考えていないとのことだが、区は多摩川の監視を強化し、水防態勢に万全を期す。②道路の拡幅や交差点の角切りの拡張は、早期に実施したい。

尖戸 教員議員(自 民) 質問 ①安全で住み良い街の実現に向け、①中長期的視点に立った都市基盤の整備を、着実に推進せよ。②明大前駅南側の道路整備も強力に進めよ。③

道路代替地を駐車場に一時的に活用するなど、区有地の有効利用に積極的に取り組め。④下北沢駅周辺の放置自転車を解消するため、駅前駐輪場を増設せよ。

助役 道路整備部長ほか ①整備方針を見直し、進めていく。②順次整備していきたい。③多様な手法を用いて活用する。④全力で取り組む。

市川 康憲議員(公 明) 質問 ①保健福祉の苦情審査会に寄せられる区民の声を、施策に十分反映せよ。②高齢者への紙おむつの支給方法を、薬局で受け取る方式に改めよ。③公衆浴場の入浴券の支給対象に、軽度の障害者も加えよ。④公金盗難事故の再発防止に向け、公金の管理方法の改善を図れ。

助役 収入役 保健福祉部長ほか ①保健福祉施策の一層の向上につなげていく。②検討していきたい。③今後、検討する。④改善策を定め、現金の管理に万全を期す。

岩本 滋昌議員(公 明) 質問 ①不登校の児童生徒が急増している。施策の一層の充実に向け、①多くの不登校児童生徒が、フリースクールに通えるよう、増設に努めよ。②鳥山地域へ、教育相談室を早期に設置せよ。③接水福祉園の鳥山分室に、給食の調理などが行えるよう、厨房設備を早急に整備せよ。

教育長 在宅サービス部長ほか ①入室希望者の動向などを踏まえ、施設の整備を検討する。②開設に向け、引き続き取り組んでいく。③状況を見ながら検討していきたい。

和田 勉議員(公 明) 質問 「雨水利用自治体・市民フォーラム」に参加し、水循環システムを構築することの重要性を再認識した。区の現状は、環境共生住宅などの一部の施設で雨水利用を行っているだけで、区全体としての取り組みが不十分だ。水循環社会の実現に向け、区民や事業者と一体となって、具体的な施策を積極的に展開せよ。

環境部長 広く区民や事業者が積極的に雨水利用を図れるよう、事業の計画化に努めるなど、水循環の一層の推進に向けた施策を検討していきたい。

星谷 知久平議員(区民ク) 質問 ①都市整備事業の地域展開にあたっては、①支所間の事業の調整に十分配慮せよ。②支所の予算権限を強化せよ。③国分寺崖線沿いの緑豊かな自然環境が、民間の開発で破壊されている。乱開発を防止するガイドラインを早急に策定せよ。④エイトラライナーの早期実現に全力で取り組め。

区長 助役 都市整備部長 ①綿密に行っていく。②可能な限り支所の判断で予算が執行できるようにする。③策定作業を進めている。④国や都に、実現を強く要請していく。

石塚 一信議員(自 民) 質問 ①区内の商店や中小企業は、地域コミュニティの形成や就労の場の提供など、社会的・経済的に大きな役割を果たしている。一方、地方分権が進む中、自治体の地域経営の責務はますます重くなってきている。地域産業の支援に向け、振興策を積極的に講じよ。②金融機関への預託金を増額し、中小企業への緊急融資制度を一層充実せよ。

区長 助役 ①地域社会の変化に対応した、総合的な施策を積極的に推進していく。②多様な手法で、融資の拡大に努めている。



4ページへ続く

一般質問

3ページの続き

新田 勝己議員(自 民)

都が、当初示した都立大跡地利
用計画は、駒沢清掃工場の建設を前提
に、区の施設要望を取り入れたもので
あった。その後、都は清掃工場の建設
計画を棚上げしたため、跡地の区の利
用も困難になったと思われる。区は、
社会状況の変化を見定めて跡地利用の
内容を総合的に見直すとともに、跡地
を利用できるように、都に強く要請せよ。

区長 政策経営室長 広く区民の声を
聞きながら、都に対して要望を行い、
現時点で最もふさわしい具体的な利用
計画をまとめていきたい。

菅沼 つとむ議員(自 民)
[1]深沢6丁目目建築違反の戸
建てのミニ開発が行われている。厳し
く是正させよ。[2]違法なミニ開発に対
する指導体制の強化を図れ。[3]用賀へ
の大型電気店出店により、交通渋滞な
どによる環境の悪化が懸念される。地
域との話し合いに応じるよう、事業者
に要請せよ。[4]生涯スポーツの推進に
向け、全庁的な連携協力体制を築け。

助役 都市整備部長ほか [1]強力に
指導を続ける。[2]関係所官の連携を密
にする。[3]粘り強く指導する。[4]振興
財団を設立するなど、体制を整備する。
近岡 秀輔議員(自 民)

[1]都区制度改革の実施により、
区民が戸惑うことがあってはならない。
[2]出張所での区民の質問に答えられるよ
う、職員育成に努めよ。[3]薬物や毒
物に関する事件が多発している。よう
した事件の発生を防止するため、家庭
や地域と連携し、薬物乱用防止教育を
積極的に推進せよ。

制度改革部長ほか [1]①きめ細かなP
Rに努める。②十分な対応ができるよ
う、取り組んでいく。[3]学校協議会で、
取り組まれるよう要請していく。

森川 礼子議員(生活ネ)
[1]環境基本条例などで指導でき
ない小規模駐車場などの緑化を進める
よう、所有者に働きかけよ。[2]ダイオ
キシン汚染などの問題への取り組みが

急務だ。①こうした問題には、疑わし
い段階から対策を講じるとともに、積
極的に区民に情報を提供せよ。②塩化
ビニール製の農業用マルチに代えて、
紙マルチを普及させよ。

助役 環境部長 [1]新設の駐車場には
指導や要請を行っている。[2]区民の
不安を解消するよう努めていく。[3]11
年度中の商品化を目指している。

下条 忠雄議員(改革派)
[1]大塚区長は7選出馬を表明し
たが、豊島の区長は権力は10年で腐る
と述べ勇退表明をした。サラリーマン
の税金を業者がバラマキ、選挙をやら
せる政治家癒着の利益誘導自民党政
府は参院選で否定された。区長は退陣す
べきだ。[2]今朝、北沢特養ホームの工
事入札があったが、落札した業者名と
情報で言われた業者名を明らかにせよ。

区長 税務経理部長 [1]区民の審判を
受けて積極的な区政運営を行っている
ので理解願いたい。[2]まだ正確に資料
等を見ていないので、答えられない。
木村 幸雄議員(自 民)

区長 [1]恒久的減税が実施された場合
区財政への影響は深刻だ。できる限り
歳出の削減に努め、将来の負担となる
減税補填の発行は抑制せよ。[2]12
年度に予定されている年金制度の見直
しの内容を、区民に十分周知せよ。[3]
国民年金の未加入や保険料未納への対
策に、一層取り組め。

助役 政策経営室長ほか [1]行財政改
善への取り組みを強化する。[2]積極
的に取り組んでいく。[3]加入促進に努
めるとともに、戸別訪問による未納者
への納付依頼などを実施している。

会派名 自民 自由民主党区議団 公
明 公明区議団 共産 日本共産党区
議団 新風21 新風21 生活ネ 生活
者ネットワーク区議団 社 民 民
民 民主リベラル 改革派 長期オ
ール与党談合区政を改革する派 行革
10番 世田谷行革10番 改革 改革
無党派 無党派市民 区民タ 区民タ
ラブ

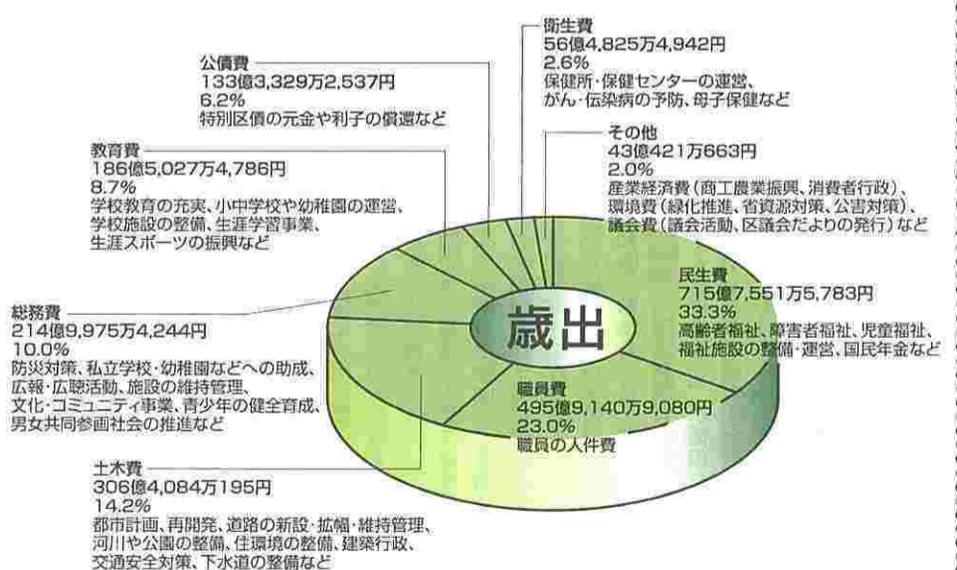
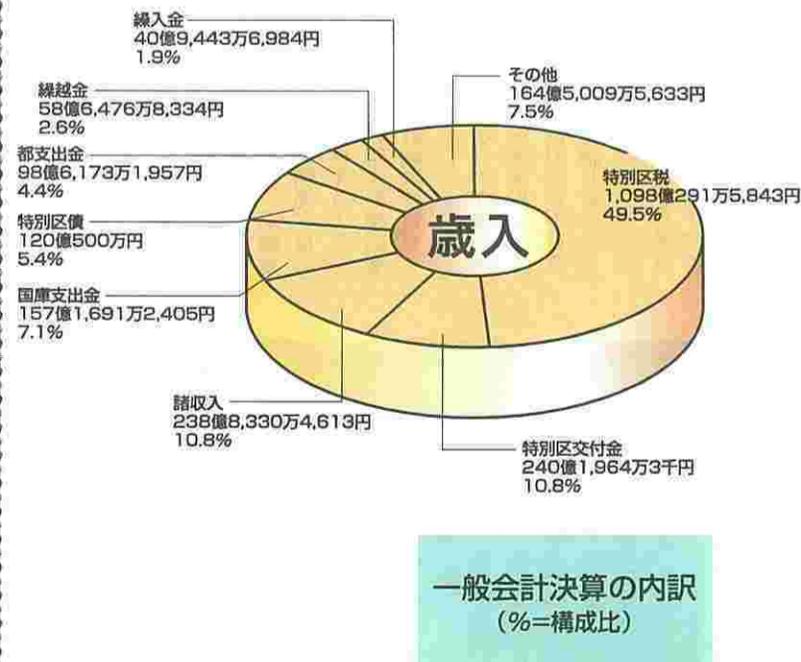
平成9年度
決算のあらまし

総額三〇〇億円を超える平成9年度決算
を認定しました。

区議会では、決算特別委員会を設置し、7
日間にわたり区政の様々な課題について、分
野ごとに慎重に審査を行いました。
審査の主な内容は次のページに、また、決
算に対する各会派の意見は6・7ページにそ
れぞれ掲載してあります。合わせてご覧くだ
さい。

平成9年度各会計決算額

	歳入決算額	対前年度比 伸び率(%)	歳出決算額	対前年度比 伸び率(%)	歳入歳出差引額
一般会計	2,216億9,880万8,769円	-3.7	2,152億4,355万2,230円	-4.1	64億5,525万6,539円
国民健康保険事業会計	426億8,547万9,900円	3.5	420億1,291万 952円	2.0	6億7,256万8,948円
老人保健医療会計	555億7,314万5,176円	4.9	555億5,396万 960円	4.9	1,918万4,216円
中学校給食費会計	5億1,765万3,526円	-1.9	5億1,347万6,848円	-1.9	417万6,678円
合計	3,204億7,508万7,371円	-1.4	3,133億2,390万 990円	-1.8	71億5,118万6,381円



区長の区議会招集
あいさつ(要旨)

総合防災訓練では、多くの参加者を
得て、広域避難場所の運営訓練などを
実施しました。これからは、震災や水
害などへの備えを、一層強化します。
区政のより効率的な運営を進めるた
め、行政改革推進条例を提案しました。
区民の皆さんの意見を反映しながら、
行政改革に全力で取り組みます。
都区制度改革における清掃事業の移
管は、区民生活に密着した重要な課題
です。都と連携を密にし、円滑に事業
を受入れられるよう、準備を進めます。
緊急不況対策では、融資枠の拡大な
ど、景気対策緊急融資制度を拡充しま
す。また、地域経済の活性化を目指す
産業振興条例の制定や、産業振興ビジ
ョンの策定に努めます。
地域保健福祉審議会に、「介護保険事
業計画」と「高齢者保健福祉計画の改
定」を諮問しました。介護保険の導入
に備えた検討を行います。民間法人の
保育所分園を中学校の余剰教室に設置
するなど、保育サービス待機児の解消
にも努めます。また、放課後の児童健
全育成として、BOP事業に学童クラ
ブ機能を取り入れた仕組みをつくり、
全小学校への事業展開を目指します。
交通問題では、メトロセブン協議会
とも連携し、エイトライナーの実現を
国や都に強力に働きかけます。また、
待望の玉堤循環バスの運行が開始され
ました。他の交通不便地域へのバス運
行にも引き続き努力します。
火葬場整備に向け、関係5区で協議
会を発足しました。整備についての責
任分担と財政支援を都に強く求めます。
ダイオキシンや環境ホルモンなどの
調査検討会議を設置しました。区民の
健康保護などに積極的に取り組みます。
地域に開かれた学校づくりを目指し、
5地域で教育懇談会を開催しました。
今後の教育施策の展開に活かします。
これからは、厳しい財政状況が続き
ますが、行財政改善を一層推進し、効
果的かつ効率的な区政運営に努めます。

決算特別委員会での 主な質問・要望事項

企画総務領域

- 自由民主党
 - 都区制度改革実施への万全な準備
 - 外郭団体の効率的運営（文化系団体の早期統合、常勤職員の削減など）
 - 景観条例の早期制定
 - エフエム世田谷の活用とPRの促進
 - 庁有車の適正な車両数の検討
 - 職員研修の充実
 - 区長と共産党との政策協定の真意
 - 談合防止に向けた入札方法の改善
 - 北沢特養ホーム談合疑義の徹底究明
 - 情報化への積極的な取り組み
 - 悪質な区民税滞納者への徴収の強化
 - 公金盗難事故再発防止策の早期策定
- 公 明
 - 行財政改革の断行（外郭団体の早期統廃合、事務職員の削減など）
 - 支所への十分な予算配分
 - 多様な媒体での区政の積極的なPR
 - 北沢特養ホーム談合疑義の真相究明
 - 組織活性化に向けた職員の意識改革
- 日本共産党
 - 福祉の後退を招く行革方針の再考
 - 区長と共産党との政策協定の履行
- 北沢特養ホーム談合問題の徹底究明
- 新 風 21
 - 区長の断固たる決意での行革の実行
 - 都区制度改革での区の自立性の強化
 - 区政の総合情報システムの確立
 - 職員目標達成度評価制度の導入
 - 生活者ネットワーク
 - 施策評価システムの確立
 - 地域情報化の積極的な推進
 - 区民税などの滞納者への徴収の強化
 - 社民党・民主リベラル
 - 行政改革への区民意見の反映
 - 清掃事業の区への円滑な移管
- 長期オール与党談合区政を改革する派

区民生活領域

- 北沢特養ホーム談合問題の徹底究明
- 世田谷行革110番
- 北沢特養ホーム入札業者の選定問題
- 改 革
 - 区長の区政課題解決への意識の欠如
 - 無党派市民
 - 開発抑制で緑保全の区民意識尊重を
 - 区民クラブ
 - 健全財政の維持に向けた経費の抑制
- 自由民主党
 - 支所・出張所機能の充実
 - 文生センターの有効利用の促進
 - けやきネットの運用方法の見直し
 - 火葬場建設への強力な取り組み
 - 区民会館業務の早期民間委託化
 - 区民利用施設の年中無休化
 - リサイクル施策の推進（資源分別回収の全区展開、清掃事業との整合、事業者への支援の強化など）
 - 都による世田谷清掃工場改築の促進
 - 区内中小企業への積極的な支援
 - 大型店出店規制の強化
 - 文生センターの施設運営の工夫
- 公 明
 - 文生センター生活工房の利用の促進
 - ポイ捨て防止条例の実効性の確保
 - ダイオキシン排出抑制対策の強化
 - 震災時用のFMラジオの配付
 - 区内共通商品券事業への支援の拡充
 - 中小企業向け融資制度の拡充
- 日本共産党
 - 資源化センターの障害者雇用の拡大
 - 大型店出店規制への強力な取り組み
 - 中小企業向け緊急融資制度の改善
- 新 風 21
 - 文生センターの情報提供機能の拡充
 - けやきネットでの情報提供の拡大

福祉保健領域

- リサイクル施策の拡充（生ごみの堆肥化の促進、環境教育の推進など）
- 生活者ネットワーク
- 中高生の社会参加の促進
- ダイオキシンの土壌調査結果の公表
- 仙川の水質浄化への強力な取り組み
- 社民党・民主リベラル
 - 住民基本台帳法改正への反対の表明
 - 区民参加による緑の基本計画の策定
 - 長期オール与党談合区政を改革する派
 - 区内共通商品券への税金投入の是非
- 世田谷行革110番
- 兼田区民センターの手抜き工事問題
- 改 革
 - 産業振興部の予算と職員数の削減
 - 無党派市民
 - 緑の基本計画に緑被率30%目標残せ
 - 区民クラブ
 - 自然環境の保全と都市開発との調和
- 自由民主党
 - 介護保険の実施に向けた体制の整備（民間活力の積極的な導入、かかりつけ医制度の確立など）
 - 生業資金貸付金の回収の強化
 - 福祉の外郭団体の早期統合
 - 高齢者財産保全管理サービスの拡充
 - ボランティア保険加入への支援
 - 保育サービスの待機児の早期解消
 - 国保料・保育料滞納者への徴収強化
 - 若者への国民年金加入の働きかけ
 - 国立小児病院跡地の福祉支援拠点化
 - 医療費抑制に向けた施策の展開
 - ガン検診事業の拡充
- 公 明
 - 介護保険実施への万全な準備
 - 高齢者の雇用機会の拡大
 - 学童クラブのBOPへの円滑な統合

都市整備領域

- 保育施策の拡充（施設の整備、公設民営による事業の推進など）
- 動物と共に暮らせるまちの実現
- 日本共産党
 - 削減した敬老金・入浴券などの復活
 - 介護保険実施後の現行水準の堅持
 - 学童クラブ・BOP統合での問題点
- 新 風 21
 - 福祉施策での受益者負担の徹底
 - 入院した高齢者のたらい回しの解消
 - 新たな子ども施策の早期実施
 - 福祉バスの一般区民の利用への活用
 - 生活者ネットワーク
 - 介護保険導入への体制の整備（障害者・高齢者施設の相互利用など）
 - 新BOP内での学童クラブの問題点
 - 社民党・民主リベラル
 - 介護保険実施に向けた万全な準備
 - 福祉用具のリサイクルの促進
 - 長期オール与党談合区政を改革する派
 - 保健センター事業の費用対効果問題
- 世田谷行革110番
- 北沢特養ホーム補助金獲得の可能性
- 改 革
 - 区長の福祉公約の未達成の責任問題
 - 無党派市民
 - 排ガス中の環境ホルモンを注視せよ
 - 区民クラブ
 - 薬局と協力した在宅介護への支援
- 自由民主党
 - 街づくりと産業振興の連携強化
 - 住民主導の街づくりなどへの支援
 - 都市復興模範訓練の成果の活用
 - 葬祭場設置基準の早期策定
 - 二子玉川再開発事業の積極的な推進
 - 小規模宅地開発指導要綱の条例化
 - 悪質な開発業者への厳正な対処
 - 北沢地域への自転車集積所の増設
 - 北沢特養ホーム工事の監督の徹底
 - 道路整備の促進（明治薬科大北東側道路の拡幅、補助4号線の整備など）
 - 国土館坂道路工事での迂回路対策
 - 南北バスの迂回路付近の環境配慮
- 公 明
 - 二子玉川再開発事業への適切な指導

文教領域

- 高齢者住み替え家賃助成制度の改善
- 放置自転車対策への強力な取り組み
- 電線類の地中化の促進
- 安全性を最優先した公園の整備
- 南北バスの迂回路沿道住民への配慮
- 日本共産党
 - 違反建築への厳正な対処
 - 二子玉川再開発事業の見直し（周辺住民への十分な説明など）
- 新 風 21
 - 街づくりへの積極的な取り組み（職員育成の強化、十分な予算配分など）
 - 放置自転車問題解決への新たな提案
 - 宇奈根付近の水道道路の安全確保
 - 生活者ネットワーク
 - 都営住宅の区への移管の促進
 - 桜丘4丁目地区の浸水対策の強化
 - 公共施設の屋上緑化の積極的な推進
 - 社民党・民主リベラル
 - 公有地の悪質な不法占用の是正
 - 南北バス迂回路問題への適切な対応
 - 長期オール与党談合区政を改革する派
 - 兼田区民センターの不良工事問題
- 世田谷行革110番
- 北沢特養ホームの設定工期の矛盾
- 改 革
 - 将来に問題があるせがやの家事業
 - 無党派市民
 - 違法騒音の小田急は地下化で解決を
 - 区民クラブ
 - 違法建築に対する是正の強化
- 自由民主党
 - 少年のスポーツ環境の整備
 - 生涯スポーツ活動の場の整備
 - 都からの教育事務移管の万全な準備
 - 学校プール事故の再発防止策の強化
 - 学級編制の弾力化（児童生徒数の増減への柔軟な対応など）
 - 指導力不足の教員への対策の強化
 - 塾中での模試業者への情報提供問題
 - 学校協議会の充実
 - 地域に開かれた学校づくりの推進（地域の人材の活用、校長や教頭の街づくりへの参加など）
 - 不登校問題への積極的な取り組み



決算特別委員会 採決

- 公 明
 - 陶芸教室の募集定員の拡大
 - 区立図書館の充実（開館日の拡充、検索システムの設置、盗難防止など）
 - いじめ解消に向けた教員研修の充実
 - 学校でのプール事故の再発防止
 - 学校トイレの改修の促進
 - 日本共産党
 - 就学援助費の支給内容の拡大と増額
 - 学校トイレの改修モデル校の拡大
 - 学校給食の民間委託化反対
 - 新 風 21
 - 私立幼稚園の支援強化と区立園廃園
 - 学校給食の将来の運営方式の明示
 - BOPと学童クラブの統合の推進
 - 24時間子ども電話相談事業への支援
 - 生活者ネットワーク
 - スポーツ振興財団での運営の公平化
 - BOPと学童クラブの円滑な統合（人材の確保、積極的なPRなど）
 - 社民党・民主リベラル
 - 家庭の教育力の向上への取り組み
 - 児童生徒の健全育成施策の拡充
 - 長期オール与党談合区政を改革する派
 - 弦巻小の事故での教育長の責任問題
 - 世田谷行革110番
 - 学校現場と議会との情報交換の強化
 - 改 革
 - 弦巻小の事故での教育長の責任
 - 無党派市民
 - ペットの弦巻小プール溺死は人災
 - 区民クラブ
 - 就学援助制度の利用促進へのPR

平成9年度決算認定に対する 会派意見 のあらまし

10月22日の本会議で、9人の議員が各会派を代表して、平成9年度各会計決算認定に対する意見を表明しました。その要旨をお伝えします。なお、意見表明者は次のとおりです。

- 自由民主党＝新田勝己議員
- 公明＝諸星養一議員
- 新風21＝斉藤りえ子議員
- 生活者ネットワーク＝森田イツ子議員
- 社民党・民主リベラル＝桜井征夫議員
- 長期オール与党談合区政を改革する派＝下条忠雄議員
- 世田谷行革110番＝大庭正明議員
- 改革＝鈴木義浩議員
- 無党派市民＝木下泰之議員

小さな行政



小さな行政を目指し 行政改革を断行せよ

自由民主党
（賛成意見）

景気の低迷が続き、区の財政状況が厳しい中、保健福祉施策の充実や都市基盤整備、事務事業の見直しなどに重点的に取り組んできたことを理解する。今後も、公債費比率の抑制に努めるなど、健全財政の維持に全力を尽くせ。

行政改革とは、行政のあり方を抜本的に見直し、肥大化した行政から「小さな行政」に転換することだ。しかし、区の行革への取り組みは、まだまだ不十分だ。区長は、行革を阻む障害を排除し、行革実行への英断を下せ。具体的には、職員定数を計画的に削減するとともに、民間委託を強力に推進せよ。外部団体の運営の見直しと整理統合にも積極的に取り組め。

都区制度改革が平成12年に円滑に実施できるよう、税財政制度や清掃事業移管などの課題を早急に解決せよ。

介護保険制度の実施では、サービス提供基盤の整備などの課題が山積している。区民が健康で安心して暮らせる

よう、準備に万全を期せ。

安全で快適な街の実現には、都市基盤の整備が不可欠だ。都市づくりは福祉であるとの観点で、狭い道路の拡幅や歩道の設置促進など、道路整備を積極的に推進せよ。放置自転車の解消にも努めよ。また、エイトライナーの実現に、区民と一体となって全力で取り組み。南北バス路線は、沿道住民の理解を得て、早期開通を目指せ。

活力ある地域社会を築くため、区の事業の区内企業への優先発注や融資制度の一層の拡充など、区内産業の活性化策を積極的に展開せよ。

けやきネットの運用では、地域で長年活動してきた高齢者のグループなどが、抽選もれて活動の場を失うことがないよう、工夫を凝らせ。

談合問題が二度と取りざたされないよう、入札制度を抜本的に見直せ。弦巻小プール事故の原因究明と、再発防止策の早期確立に全力を尽くせ。

世田谷区



世田谷の将来を展望し 果敢な行政改革を

公明
（賛成意見）

行革条例の制定は、21世紀の世田谷の理想像の構築に向けた第一歩に過ぎない。肝心なのは、行革を果敢に実行することだ。これを左右する行革推進委員会の委員には、適切な人材を選べ。深刻化する区財政を改善するには、国と地方の財政構造の変革が欠かせない。これは都と区の関係でも同様だ。都区制度改革に伴う、新たな税財政制度の構築に、全力で取り組み。

区議会においては、自らを律する政治倫理条例の一日も早い制定と、議員定数の削減を改めて提唱する。

国全体の経済がどん底の状態にある中、地域経済の活性化施策の展開が大変重要だ。区内共通商品券事業への支援を一層拡充せよ。新たに実施する倒産防止特別融資では、貸し渋りがなく、金融機関を強く指導せよ。

介護保険の実施を控え、サービスの提供基盤の整備が緊急課題だ。グループホームを含めた施設サービスの提供

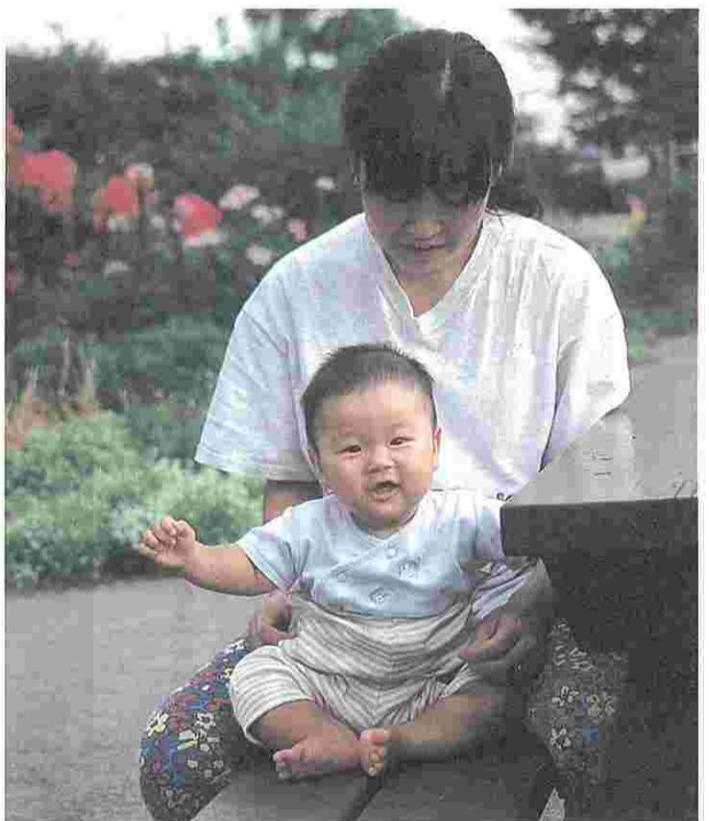
では、民間法人などの協力を得よ。

少子化対策では、乳幼児医療費助成制度の所得制限を撤廃したことを評価する。しかし、保育施策の抜本改革は不十分だ。保育コストの削減や公設民営での事業展開を、積極的に推進せよ。学童クラブとBOPの円滑な統合に向け、保護者に、区の方針を十分説明し、理解を得よ。

リサイクル事業に区民の誰もが日常的に参加できるように、資源回収では、拠点回収と路線回収を織り交ぜた、きめ細かなシステムを確立せよ。

学校での事故は、絶対にあってはならないことだ。教職員を始め、関係者への事故防止に向けた指導を徹底せよ。北沢特養ホームの談合疑惑が発生した。こうした問題が二度と起きないように、新たな入札システムを確立せよ。

区長は、先駆自治体の長として、リーダーシップを十分発揮し、この直面する難局を乗り越えよ。



フラワーランドにて



都区制度改革を視野に 行政改革を断行せよ

新風21
（賛成意見）

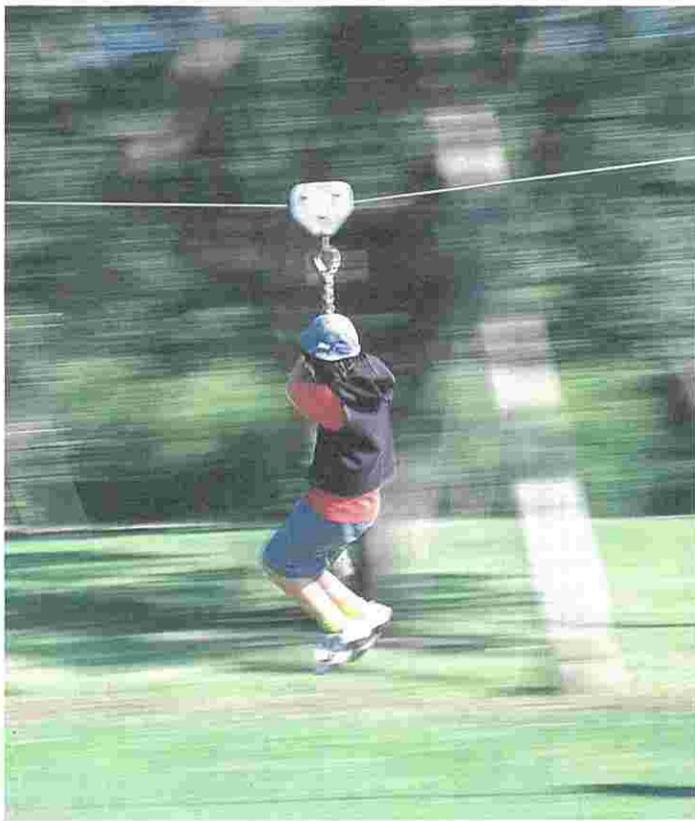


等々力渓谷にて

12年度の都区制度改革の実施に向けた協議が、大詰めを迎えている。区の財政自主権が十分確保できるように、新たな税財政制度の確立に全力を尽くせ。また、清掃事業の区移管で、都は、収集や運搬、可燃ごみの中間処理を一定期間、23区が共同処理するという内容の提案をしたが、区は、各区が処理するという従来どおりの考え方を、断固として貫け。移管後に設置される清掃協議会が、都の主導ではなく、23区で主体的に運営できるように、各区の結束を強化せよ。

都区制度改革を実現するためにも、行政改革の断行が不可欠だ。まず、職員配置が弾力的にできるよう、人事制度を根本的に見直し。具体的には、区独自の人事委員会を設置することを検討せよ。当面は、細分化されすぎた職種を統廃合するため、規則の改正などに積極的に取り組み。更に、行革を着実に推進していくため、優先順位に従った事業の実施や、事業の開始時期の調整にしっかり取り組んでいけ。簡素で効率的な行政運営を推進し、社会環境の変化や多様化する区民ニーズに的確に対応できる、行政組織転換はお金をかけずに全力を尽くせ。また、地方分権の流れを十分活かして、区独自の行政サービス効果を効果的に展開せよ。

区が解決すべき重要な課題のうち、子どもを取り巻く問題や環境・リサイクル、防災などは、縦割り行政の弊害を排して、横断的な執行体制で臨め。手法や対象が類似している事業や第三セクターの統合などの見直しも急げ。また、厳しい財政状況が続く中、区民にも、受益者負担を原則に、サービスを受けてもらわねばならない。こうしたことに対する区民の理解を得るためにも、行政自身が、率先して組織をスリム化するとともに、民間の力を最大限活用できるように、万全な支援体制を確立せよ。



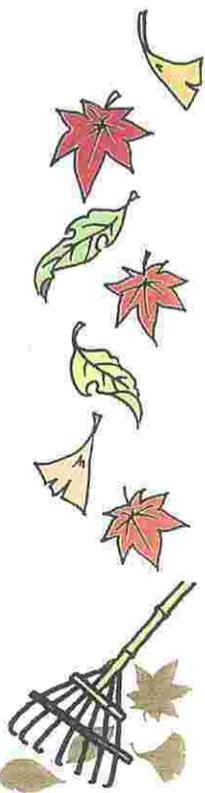
砦公園にて

長引く不況の影響により、国と地方は巨額の税収不足に見舞われている。特に、都の税収不足は深刻で、福祉や教育の区への補助金などの削減により、施策の後退を招くのではないかと心配される。更に、福祉や教育は、国や都に財源を多く依存する仕組みとなつて

行政改革とは、行政組織の肥大化や財政の膨張を防ぐことだ。しかし、最近の行革は、政治性を帯び、職員の基本的な人権すら否定しかねない傾向にある上、職員の削減や合理化のみが求められる。区は、行政改革推進条例の制定の大前提である区民福祉の向上を目指すという理念で、行政改革に取り組む。また、行革に、より多くの住民の参加と意見を反映するため、行革推進委員会の区民委員を住民投票で選出する制度を導入せよ。

星谷議員が辞職した。「せたがやの家」事件の責任を取ったことは明らかだ。区長の責任を裁判で徹底追求することここに明言する。小田急高架は、国の甘い騒音受忍限度さえクリアできぬ違法事業だ。区内全視測点で環境基準

を越す自動車騒音や大気汚染、環境ホルモンを含む排ガスに区長は危機感すら感せず、更に緑被率30%の目標を20%目標に替えようとしている。区長不信任の立場で全決算認定に反対する。



経済状況は依然として非常に厳しい。区長を始め職員は、更に意識を改革し、区民の立場でサービスの提供に努めよ。都から移管される清掃事業は、収集・運搬から可燃ごみの中間処理までを各区で行うべきだ。しかし、ダイオキシン対策実施中の2005年までは、中間処理を23区共同で処理することは現実的な対応と考える。こうした問題を踏まえ、清掃事業が円滑に移管されるよう、区長は、区長会の会長として力を注げ。区民は緑の保全や創出を強く望んでいるが、区内の緑は開発などが進み、減少している。緑は、地球の温暖化防止にも大変重要な役割を果たすものだ。区の施設においては、植栽だけでなく、真夏の省エネにも効果がある屋上緑化や壁面緑化に積極的に取り組め。特に、北沢特養ホームの建設にあたっては、安価で手間のかからない手法を導入し、屋上緑化を実施せよ。また、ガーデンニングブームの今、経済的効果も考え、

民間への緑化の普及啓発を強力に行い、緑被率・緑視率の向上に力を注げ。弦巻小プールでの児童の死亡事故は、水深調整を怠るなど、人災としか考えられない。学校は、次代を担う子どもへの大切な命を預かっている場所であることを絶対に忘れず、事故の再発防止に万全の対策を講じよ。北沢特養ホーム建築工事の入札で、談合騒ぎがあった。特養ホームは区民要望が高い施設であり、万全な施工を行うよう、業者を厳しく指導せよ。介護保険の導入では、NPOなどがサービスの供給主体となることを期待されている。NPOなどへの補助金のあり方を早急に整理し、新たな支援制度を確立せよ。国が恒久減税を実施すると、区税も大きく減収することが必至だ。こうした状況を招かぬよう、区の財政自主権の強化を含め、地方自治体の税財政制度の見直しを、国に強く求めよ。



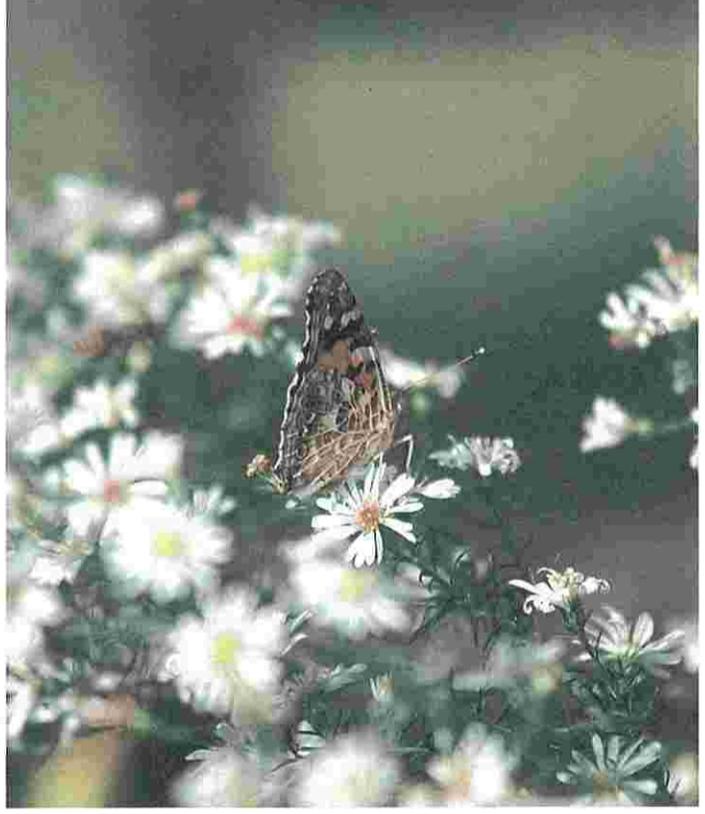
**緑化の一層の推進に向け
取り組みを強化せよ**

—生活者ネットワーク—
(賛成意見)



**財政状況は厳しくとも
福祉と教育の充実を**

—社民党・民主リベラル—
(賛成意見)



フラワーランドにて



混迷する区政の抜本的改革を

—改革—
(反対意見)

大場区長は、北沢特養ホームの工事を区内の特定業者に受注させるため発注方法の見直しをした。が、談合情報が出たので幹部が別の業者を指示し落札した。天の声は犯罪的だ。弦巻小のプール事故は、若い時からちやほや

兼田区民センターは、10年3月末までの工事終了が、国や都の補助金の支給要件だったが、4月まで工事が続き、それを区は手直しと称し、国や都へ虚偽の報告をしており決算上問題だ。



区長と業者との癒着を糾弾する

—長期オール与党談合区政を改革する派—
(反対意見)

清潔で公正な区政の実現を

区は、北沢特養ホームの入札で、区内業者に落札させようとした。このため、北沢特養より規模が小さく、難易度の低い建築工事で、工期の遅延や水漏れ事故を起こした業者の入札参加を認めてきた。非常に問題だ。また、



腐敗を断て、環境重視の区政を

—無党派市民—
(反対意見)

第4回定例会は、11月25日から12月3日まで開催します。

議決内容の要約

○工事請負契約の締結 6件
○仮称中町4丁目複合施設新築工事 (全員賛成)

○仮称玉川田園調布高齢者住宅サービ
スセンター新築工事 (全員賛成)

○北沢特養ホーム新築工事
(賛成多数)

○工事名 契約金額
建築 二億七千二百〇万円
電気設備 七億四千万円

○工事概要 鉄筋コンクリート造地下
1階地上4階建 (痴呆性デイリウム、
機能回復訓練室、在宅支援センター、
居室、介助浴室など)

○東京地方裁判所平成7年(ワ)第3694
号、第3714号破産申立事件において区
が届け出た債権劣後の申出 1件
(全員賛成)

○公の施設の利用に関する協議 2件
(全員賛成)
○大田区立多摩川田園調布緑地の区民
による利用

○多摩川玉堤広場の大田区民による利
用
以上2件は、それぞれの緑地・広場
を世田谷、大田両区民が相互に利用
できるよう、協議するもの。

Table with 4 columns: 区民所 在 地, 賛成, 賛成多数, 賛成少数. Rows include 喜多見8丁目4, 赤堤3丁目38, 桜上水3丁目4, etc.

○議員の資格決定 1件
(賛成多数)
○議員提出議案 2件
○公共事業の請負契約で区議会議員の
関与を排除する決議

○星谷知久平議員の辞職勧告決議
(賛成多数)
○星谷知久平議員の辞職の許可 1件 (全員賛成)

決 議

公共事業の請負契約で区議会議員の関
与を排除する決議
地方自治法第92条の2において、議
員の兼業禁止が規定されている。請
負契約の問題で、議員の関与とそ
れによる公正について、区民感情の点
から見て疑われるようなことを二度と
おこさないようにするために、世田
谷区議会は地方自治法第92条の2の規
定を厳しく遵守すべきである。従っ
て、世田谷区議会として、議員
本人はもとより配偶者の経営する企業

は、世田谷区及び区の定める外部団体
との請負契約に係る主たる契約対象者
とならないことを、ここに確認する。
もって、世田谷区議会は、区民の負
託に応えた清潔で公正な活動を遂行す
ることを決意する。
右、決議する。
平成10年9月24日

要 望 書 (要 約)

区議会は、次の要望書を関係機関あ
てに提出しました。
組織犯罪対策法案等の慎重審議を求め
る要望書
凶悪化、複雑化する反社会的な行為
から市民を守るため、困難を極める組
織的犯罪へのよりの確な捜査が必要だ。
その一方で、通信の秘密が不当に侵害
されることも危惧されている。
こうした状況を勘案し、組織犯罪対
策法案等三法案については、慎重に審
議されるよう要望する。
平成10年8月13日
衆議院・参議院議長 あて
斎場建設についての要望書
火葬場は必要不可欠な都市施設であ
り、関係五区は、共同して臨海部に火
葬と葬儀が行える斎場を計画している。
都に対し、その責務において、土地
の無償提供並びに建設及び運営に関す
る助成措置を講じられるよう要望する。
平成10年8月31日
東京都知事 あて
青少年健全育成のための法律制定に関
する要望書
これからの社会を担い、国の土台を
支えて行く青少年を健全に育むため、
青少年保護を目指す基本的な法律の一
日も早い整備を強く要望する。
平成10年9月11日
総務庁長官 あて
アメリカ合衆国の未臨界核実験に抗議
するとともに、今後一切の核実験の即
時中止を求める要望書

米国の未臨界核実験は、核兵器廃絶
と恒久平和を求める人類共通の願いを
踏みこむ行為である。
すべての核実験は人類の生存を脅か
すものであり、今回の実験に厳重に抗
議するとともに、今後のあらゆる形態
の核実験の即時中止を再度、強く要望
する。
平成10年10月5日
アメリカ合衆国大統領 あて

請 願

審議が終わったもの (全員賛成)
採択したもの 3件
○世田谷区立の中学校に「通級指導学
級」の増設を求める陳情
○青少年健全育成のための法律制定に
関する請願
以上2件は趣旨採択となりました。
○三宿法務省施設跡地を区立「緑の森
公園(仮称)」にすることに於いての
請願
「願意に沿うよう努力されたい」と
の意見を付けました。
○取り下げを承認したもの 1件
○喜多見5丁目遊歩道に関する陳情
新しく出されたもの
◆企画総務委員会へ審査するもの 3件
○都市の農業を守るため、政府に相続
税の大幅軽減を求める請願
○新ガイドライン関連法案に反対する
請願
○新ガイドライン関連法に関する請願
○新ガイドライン関連法に関する請願
○区民生活委員会へ審査するもの 1件
○福祉保健委員会へ審査するもの 5件
○知的障害者の生活の場を保障し、そ
の充実を図るための施策を求める請
願
○保育時間の延長に関する陳情
○東京都の民間保育所に対する保育所
運営費に関する陳情
○砧南小学校区に「学童クラブ」の設
置を求める請願

○介護保険制度に関する陳情
◆都市整備委員会へ審査するもの 4件
○(仮称)粕谷3丁目集合住宅の新築
工事計画反対に関する陳情
○(仮称)奥沢日丁マンション建設に
関する請願
○補助54号線の凍結に関する陳情
○建築基準法等違反建築物への措置を
求める陳情(上野毛1丁目10番)
◆文教委員会へ審査するもの 1件
○学校給食への有機農産物及び特別裁
培農産物の使用促進に関する陳情
◆交通対策委員会へ審査するもの 3件
○新規バス路線開通に伴う迂回路の変
更に関する陳情
○希望丘団地へ桜上水バス路線開設に
係る陳情
○南北バス(千歳鳥山駅・成城学園前
駅間)の早期実現を要望する陳情
◆国公有地等対策委員会へ審査するもの 1件
○国立小児病院の跡地利用に関する請
願

正副委員長の 互選結果の報告

○決算特別委員会
委員長 山内 彰委員(自民)
副委員長 笹尾 淑委員(共産)
副委員長 斉藤りえ子委員(新風21)

会派構成の変更

「社会民主党区議団」は、9月22日
付けて「社民党・民主リベラル」に、
「公明区議団」は、11月6日付けて
「公明区議団」にそれぞれ会派名を
変更しました。また、星谷知久平議員
は、9月24日付けて新たに「区民クラ
ブ」を結成しましたが、10月22日付け
で、区議会議員を辞職しました。この
結果、区議会の会派構成は、次のとお
りになりました。

Table with 2 columns: Party Name, Number of Members. Includes 自由民主党区議団 (20人), 公明党区議団 (10人), 日本共産党区議団 (5人), etc.

(欠員4人)

編集後記

○今回の定例会では、30名の議員が、
行財政改善などの区政の様々な課題
について質問を行うとともに、9年
度の決算を審査しました。これから
も、区議会の活動が、区民の皆様にと
ってより親しみやすいものとなる
よう、区議会だよりの編集に工夫を
凝らしていきます。

本紙に掲載された質問や答弁等の内容を詳しくお知りにな
りたい方は、会議録(本会議の分は11月下旬、決算特
別委員会の分は1月中旬の発行予定)をご覧ください。
なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合
支所、出張所、区民センターに備えてあります。

